



〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にこにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

一 宮大工に学ぶ

私どもの住んでいる高岡市の北の端、富山湾に面した一角に「伏木」という町があります。そこに「勝興寺」という寺があります。歴史は古く1471年に蓮如上人が越中の布教の拠点として建立したと言われています。今、平成の大改修が行われていて完工後は国宝に指定されると聞いています。

改修工事は、先ず建物全体を覆います。そして建物全体を解体し、痛んだ箇所を補填補強して元の形を忠実に復元するというものです。

本堂はすでに改修が終わり、今は周りの付帯建物に掛かっています。

そんな改修工事により改めて古人の木造建築技術の高さ・緻密さ・巧妙さが明かされ、宮大工の良き教材となっています。

そんな中、先日、「木を読み・人を育てる」と題して宮大工の棟梁を取材し

た報道がされていて、一般の会社や学校など他の業界にも参考になると思われ載せました。

「木のくせを組め」宮大工の技術を学ぶ。木と話し人を育てる。

○木は一本一本質・形が違い、同じものは無い。その木のくせ・本性を活かす。

○不揃な弟子たちは木と同じ。一人として同じ人はいない。

○建物も仕事も一人(一個)ではできない。皆でやればできる(建物は総もち)。

○採用について、大学卒より中学卒が良い。

苦は何処にでも必ずある。大学卒には後悔がある。中学卒には後悔がない。それしかない迷道の無い子が良い。

○新人教育は特に無いが、全寮制にする。アパートから通うのはだめ、何から何まで同じ(勿論親方も)。同じ飯を食べ、同じ仕事をし、同じ考えになる。

○新人には料理をさせる。料理をさせるとくせがわかる。料理の上手なのは仕事も上手。

○自然に任せ自分からは押し付けない。弟子は親方を新人は先輩を見習

って育っていく。

○段取りの良い人で無ければならない。百姓は頭が良くなければやれない。この場合の頭のよさは、学問的知識・識見ではない。天から与えられ自らの内から出る智慧をいう。

二 ホームページに載せました

この「にこにこ通信」を(有)沖商店のホームページに載せました。此方からの一方的なメールは迷惑メールの感もあり、いづれ止めようと思っております。アクセス番号は

www.oki-shouten.comです。

「富山方言番付」

東の前頭「なじんぞい」

意味||恋愛結婚。「馴染み深い」が訛った語。昔はほとんど「見合い結婚」でしたから珍しがられて、なにかと人の噂になり、こんな言葉もありましたが、今日ではほとんどが「恋愛結婚」ですから死語になりました。

西の前頭「もーも」

意味||お化け。怖いもの。「蒙古」が訛ったとする説もある。幼い子供を躰ける際に用いる。

「そんなきかんことばつかしとつたら、もーもくつよ」||

「そのような悪い事ばかりしていたら、もーもが来ますよ」。